

進路指導でのタブレット活用

～進路指導担当者による活用の実践と提案～

小出特別支援学校川西分校（高等部） 細井哲明・山口崇

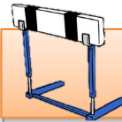


本実践のねらい・意図

外回りで外部との情報交換が多い進路指導担当者こそが、携帯性に優れたタブレットの活用に適した立場では？



立場と道具の
相互親和性！



“機器導入”のハードル



① 購入予算→Android 端末
にして2万円程度に圧

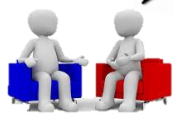
② 必要性・有用性をアピール
(進路指導部+情報教育部)

③ LAN 回線の速度強化(1000Base-T)
動画編集ソフトの購入 (進路用)



活用事例①

文書 (支援計画)



文書+動画



生徒の様子を動画で紹介 (対事業所担当者)



活用事例②

現場でのあなたの様子だよ
▲▲を〇〇に直すといいね！

◇◇が
できるようになっ
たね！



実習での現地指導 (メタ認知支援+OJT)



試験事例と 今後の構想

生徒が先輩や仲間の様子を知る
(不登校生徒の学習素材にもなる)
生徒が事業所や通勤バス停を知る
移行支援時に生徒の様子を伝える
etc...



いいね！

生徒・保護者・事業所・支援者・学校で情報を共有



成果と課題



・ 文書で伝えにくい情報がより直感的に伝達可能
→相手の理解や反応が格段に向上
(知識や感覚の共有が明確に)



・ 端末のスペックが不足
(特に HDMI・MHL 出力があると良い)
・ 情報管理の徹底
・ 撮影に端末慣れ、配慮が必要